

## 第1回生物多様性ながれやま戦略策定部会 議事要旨

日 時： 平成29年4月25日（火）午前10時～12時

場 所： 市役所第1庁舎庁議室

出席委員：

岡田啓治部会長、新保國弘委員、樫聡特別委員、高橋秀治特別委員、  
柳沢朝江特別委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

染谷環境部次長兼環境政策・放射能対策課長、

伊原環境政策・放射能対策課長補佐、遠藤環境政策係長、大竹主事

傍聴者：0名

議 題：

- （1）生物多様性ながれやま戦略について  
（いただいたご意見及びその対応）
- （2）その他

資 料：

資料1：平成28年度第3回生物多様性ながれやま戦略策定部会 皆  
様から出たご意見とその対応

資料2：平成28年度第6回環境審議会 皆様から出たご意見とその  
対応

資料3：（仮称）生物多様性ながれやま戦略中期段階第一期（素案）

発言者	要旨
生物多様性ながれやま戦略策定部会部会長の選出について	
事務局	佐藤部会長が審議会委員及び策定部会委員を辞められたことを受け、平成28年度第6回環境審議会にて審議会委員、策定部会委員ともに欠員補充を行わず、岡田委員を部会長とする案を諮ったところ、承認された。策定部会委員の皆様においても承認いただきたいが、いかがか。
(異議なしの声)	
事務局	岡田委員に策定部会長に就任していただくこととする。今後の進行は岡田部会長にお願いする。
(議題1)生物多様性ながれやま戦略について(いただいたご意見及びその対応)	
事務局	～意見とその対応についての説明～
檜委員	資料編のオオタカについての掲載ページについて、密猟が密漁という漢字になっている。また、流山市のオオタカの歴史について、書き方を再考してもらいたい。
岡田部会長	構成を変更するべきと考える。再考した案を作成し、事務局に送付する。
事務局	承知した。
新保委員	<p>オオタカのコラムについて、種の保存法の解説とオオタカの種の保存法の位置づけについては別々に記載しないとわかりづらい。内容案を事務局に送付する。</p> <p>また、種の保存法については、レッドデータについて掲載している場所で一緒に説明した方が良いと考える。</p> <p>第3章の初期段階の評価と課題のところ、②生物多様性の持続可能な利用のところ、緑と緑地の言葉の使い方がわかりづらい。また、グリーンチェーン認定面積の算出根拠を示してほしい。</p> <p>また、コラムのところは森林面積の推移など生物多様性により近い内容にするべき。</p> <p>第4章の重点プロジェクトで示している流山市の生態系ネットワークについての内容は、スペースが小さいので</p>

	<p>国の示している定義を消し、流山市で取り組んでいるソデモリ（流山おおたかの森駅周辺の植栽事業）についても掲載すべきではないか。また、ソデモリの取組みについては、資料編で示している緑の創出についての地図にも掲載すべき。</p> <p>今回から新しくにしひらい水鳥の池が重点拠点として示されているが、説明をしてもらいたい。</p>
事務局	<p>住宅街といった街の中にある自然についても積極的に重点拠点化していきたいという考えがある。</p>
岡田部会長	<p>現在鳥のみの調査か。</p>
新保委員	<p>にしひらい水鳥の池は急斜面で危険なので、植物調査は難しい。</p>
高橋委員	<p>宮園の自治会は、積極的に調整池などの自然保護に力を入れているが、西平井は現状どうなのか。</p>
事務局	<p>特にそういった活動があることを聞いてはいない。</p>
新保委員	<p>資料編で、生物多様性についての基本事項を示しているが、内容が固く読みたいと思わないので、表現の工夫をするべき。敲き台を作成する。</p> <p>また、2には生物多様性の危機について示しているが、生物多様性の重要性について2つ目の項目で示すべき。</p> <p>更に、生物多様性の将来的な目標を愛知目標と共に記載するべき。</p> <p>3のレッドデータカテゴリーは種の多様性の内容の1つである。また、日本にはどのくらいの種がいて希少種がどのくらい増えているか、希少種の構成等含めて示すべき。</p> <p>また、千葉県レッドデータブックのカテゴリーの内容の評価基準について1ページ使って説明しているが、もったいないと感じる。また、RLのうしろの2009と2011についてはそれぞれ違うので、何のRLか掲載すべき。流山市内で見られる動植物の例を掲載すると、なおわかりやすいと思う。</p>

	<p>コラムで特定外来種について掲載しているが、リストの内容があっているかももう一度確認してもらいたい。特に流山市内でも問題となるほど増えているものの、対応しきれていないような種類については、強調すると良い。</p> <p>愛知目標の掲載ページが、文字が小さい。</p> <p>重点拠点として、新川耕地北部でなく新川耕地に変更し、地図上も広く示すべき。</p> <p>植樹実績については、緑の創出というタイトルにし、ソデモリ、グリーンチェーンの内容等も含めると良い。</p>
岡田部会長	市野谷の森の自然環境目標について、鳥という表現でなく野鳥という表現に変えてもらいたい。
新保会長	種の保存法の指定種からオオタカが外れる可能性がある件について、外れたとしても対応できるようにオオタカについての条例を作成するなどはどうか。
岡田部会長	指定種からはずれた場合、法的根拠がないと我々もお願いしづらい。
新保委員	営巣木の伐採や写真撮影といった行為を制限するといった内容が理想である。
岡田部会長	植樹結果については、どこで行ったか掲載すべき。
檜委員	施策展開をするには予算化する必要がある。予算化しやすくするためにどこかに施策の推進体制について記載できないか。
事務局	内部で協議の上、必要なものについては予算要求していきたいと考えている。
新保委員	重点拠点の見学会を、住民向けに開くのも良いのではないか。
事務局	生物多様性シンポジウムで扱うことも今後視野に入れていきたい。
柳沢委員	市民向けの生物多様性の展示では、良いものだけでなくマイナス面の話も啓発すべき。また、具体的な数字、〇〇が増えた、減った等もグラフ化などして示せると良い。
岡田部会長	モニタリングをやっている人間が、そういった増減デー

	タの分析等を意識していくべきだと考える。
--	----------------------

～次回の策定部会は5月26日（金）とした～
-----------------------